

6. アンケート地区別分析項目

TU130104

6-4.平塚地区親の会 会員アンケート結果分析項目

①アンケート回収状況(アンケート属性、件数データ集計結果)

1)回収率

|      |      |
|------|------|
| 回答件数 | 22 件 |
| 総発行数 | 25 件 |
| 回収率  | 88 % |

年齢構成

| 年齢  | 人数 | 男  | 女 |
|-----|----|----|---|
| 8   | 1  |    | 1 |
| 9   | 2  | 1  | 1 |
| 12  | 1  | 1  |   |
| 13  | 1  | 1  |   |
| 14  | 0  |    |   |
| 15  | 5  | 5  |   |
| 16  | 1  | 1  |   |
| 17  | 1  | 1  |   |
| 18  | 1  |    | 1 |
| 20  | 1  | 1  |   |
| 21  | 1  | 1  |   |
| 22  | 1  | 1  |   |
| 26  | 1  | 1  |   |
| 27  | 1  | 1  |   |
| 30  | 1  | 1  |   |
| 未記入 | 3  | 3  |   |
| 合計  | 22 | 19 | 3 |

2) 日中活動の場

|              | 件数   |
|--------------|------|
| 22 支援級       | 6 名  |
| 23 特別支援・養護学校 | 7 名  |
| 35 特別支援学校高等部 | 名    |
| 51 通所福祉施設    | 3 名  |
| 52 入所        | 1 名  |
| 61 普通企業      | 1 名  |
| 70 在宅        | 1 名  |
| 72 その他       | 2 名  |
| 未記入          | 1 名  |
| 合計           | 22 名 |

3) 障害者手帳の状況

|         |             |
|---------|-------------|
| 療育手帳 A1 | 3 名         |
| A2      | 2 名         |
| B1      | 8 名         |
| B2      | 3 名         |
| B3      | 3 (神奈川判定B2) |
| 精神 3級   | 2 名         |
| 無し      | 1 名         |
| 合計      | 22 名        |

4) 記入者

|      |        |
|------|--------|
| 1 本人 | 0.5 名  |
| 2 家族 | 21.5 名 |
| 合計   | 22 名   |

5) 住んでいる所

|      |      |
|------|------|
| 1 自宅 | 21 名 |
| 3 GH | 0 名  |
| 4 入所 | 1 名  |
| 合計   | 22 名 |

2 総回答件数状況

| 1) NO 質問項目         | ○良かった事 | ●困った事 | 20 望む事 | 30:合理的配慮 | 合計件数 | %    |
|--------------------|--------|-------|--------|----------|------|------|
| NO1 療育・教育          | 24     | 25    | 14     | 10       | 73   | 26.6 |
| NO2 障害児支援          | 18     | 11    | 3      | 1        | 33   | 12.0 |
| NO3-1 働く(一般就労)     | 4      | 4     | 3      | 2        | 13   | 4.7  |
| NO3-2 働く(福祉就労)     | 4      | 2     | 1      | 0        | 7    | 2.6  |
| No4 医療             | 16     | 14    | 5      | 2        | 37   | 13.5 |
| NO50 警察や交番・司法      | 4      | 3     | 2      | 1        | 10   | 3.6  |
| NO6-1 生活支援(店舗等)    | 13     | 8     | 3      | 3        | 27   | 9.9  |
| NO6-2 生活支援(公共交通機関) | 3      | 8     | 4      | 1        | 16   | 5.8  |
| NO6-3 生活支援(消費生活等)  | 1      | 5     | 2      | 0        | 8    | 2.9  |
| NO7 生活(住まい)        | 7      | 8     | 3      | 0        | 18   | 6.6  |
| NO8 救急・消防・災害       | 2      | 0     | 5      | 1        | 8    | 2.9  |
| NO9 政治参加           | 1      | 2     | 1      | 0        | 4    | 1.5  |
| NO10 社会参加          | 8      | 7     | 5      | 0        | 20   | 7.3  |
| 合計                 | 105    | 97    | 51     | 21       | 274  | 100  |

検算 274

2) 自由記入

| NO 質問項目         | 件数 |
|-----------------|----|
| 10 困った事         | 3  |
| 20 助かった事、親切だった事 | 7  |
| 30 アンケートへの感想、意見 | 3  |
| 40 会への要望、意見     | 6  |
| 50 その他          | 10 |
| 合計              | 29 |

## ②生活シーンNO項目別回答コメントの分析概要報告(平塚)

### NO1 療育・教育

- ・管理職や主任教諭の理解があり、全体で支援体制が組まれる好例が数例あった。
- ・中学時代の学年を超えたいじめは、解決が困難。高校時代のいじめ相談を地域の支援センターしたが、対応への助言がなく、相談を止めた例あり。スクールカウンセラーも予約待ちで使えず。
- ・大学生になって障害に気づいた例が数件あり。療育を受けずにきた。
- ・教師の専門性や力量に差があり、好例・悪例ほぼ同数寄せられた。

(望む事として)

- ・車椅子・視覚・聴覚体験だけではなく、知的障害等も福祉体験で触れてほしい。
- ・教師が障害理解研修に参加しやすいような環境。
- ・大学でのサポート。
- ・高機能の生徒に対応できる高校・大学など。多様な選択肢がほしい。

(合理的配慮)

- ・教師の共通理解。専門性。視覚的な手立ての使用。環境整備。
- ・介助員の増員。障害に応じたカリキュラム。一貫した支援のためのアセスメントシートの活用

### NO2 障害児支援

- ・健診時の保健師の対応や児童相談所の説明不足への批判があった。
- ・放課後支援事業や市費によるSSTが比較的充実しているので、感謝の声が多い。
- ・部活動は支援がないために見送る人もいるが、参加している人は楽しんでいる。
- ・事業所の個人情報扱いに不信感を持ち、利用を見送る例があった。
- ・移動支援が通学時に使えないため、母の怪我で長期間欠席させた例があった。

(望む事として)

- 自閉症の理解・専門性
- 保護者向けの勉強会や早期療育の場。
- 休日の預かり支援。

(合理的配慮)

- 自閉症の理解・専門性と環境整備。

### NO3-1 働く(会社などの一般就労)

- ・職安や支援センターへの評価は二極化。
- ・チャレンジ雇用やトライ！での実習修了後の評価がないため、得意不得意が不明で、次に活かさない。

(望む事として)

- アフターフォロー。
- 就労支援員の増員。
- 職場理解のための勉強会。

(合理的配慮)

- 障害理解と視覚支援・人材など職場環境の整備。

### NO3-2 働く(福祉的就労・施設・作業所など)

- ・利用者同士の間人間関係が難しい。
- ・(回答総数が少ないが)支援に関しては評価が高い。

(望む事として)

- ・本人の希望や能力を見極め、就職できそうな人には働きかけてほしい。

(合理的配慮)

- ・障害理解と視覚支援・人材など環境整備。

### NO4 医療

- ・配慮ある対応をしてくれる所がある反面、暴言や冷たい対応を受けた例も。平塚には専門の障害児歯科があるため、歯科には好例が多い。
- ・採血時に麻酔パッチを使い、苦痛を我慢せずに採血できた例あり。

(望む事として)

- ・問診表に「自閉症」と書くだけで理解され、対応できるように一般開業医は勉強して欲しい。
- ・医学部で発達障害を学べるカリキュラムを整えてほしい。

(合理的配慮)

- ・静かな別室待機場所。待ち時間のない予約システム。視覚的な見通しの提示。
- ・発達障害を統合失調症など他精神疾患と誤診のないよう、精神科医の正しい知識習得。

### NO5 警察や交番・司法

- ・不審者と間違われ取調べを受けた時に、一方的な思い込みで不当な対応を受けた例と理解ある対応例と二極化。
- ・取り調べ時に恫喝され、あしすとに相談。対応ノウハウを教えてもらった。

(望む事として)

- 事情聴取の際に、弁護士と共に支援員の同席を許可してほしい。

(合理的配慮)

- 障害理解と適切な対応。取調べの可視化。支援者同伴での取調べ。

#### NO6-1 生活支援(店舗・レジャー施設・余暇の場)

- ・水族館でパンフ掲載の動物が展示されていなかったのに、パニックを起こした例あり。
  - ・公営ギャンブルは国が行っているのに健全だと思いき、出入りしていた例あり。
  - ・ディズニーリゾートでは、乗り物の位置まできいてもらえる。
  - ・映画館のような施設で座席に着けなかった時、離れた場所にパイプ椅子を置いてもらえた。
- (望む事として) 職員研修などで理解・対応を学んでほしい。  
ディズニーリゾートのような取組が広がってほしい。  
遊興施設に全国共通の障害者割引ステッカーがあると目に付きやすい。
- (合理的配慮) コミュニケーションボードやマークなどを利用した視覚支援。

#### NO6-2 生活支援(公共交通機関)

- ・電車内で人の顔を凝視したり髪をさわろうとして通報された例あり。
  - ・新幹線の個室がよかったと反面、金銭的な負担が大きいという声も。
- (望む事として) 外見からは障害者と分かりにくいので、妊婦表明のような表示があるとよい。  
職員研修で障害の理解を。  
手帳の等級により割引差があるが、それをなくし、全付添者に割引を。
- (合理的配慮) 障害理解と視覚支援。

#### NO6-3 生活支援(消費生活・情報アクセス・コミュニケーション保障)

- ・療育手帳の更新時に、予約時間を超過してかなり待たされパニックに。
  - ・宗教・政治・教材購入などの勧誘が多い。断れない性格の人は不信感をもつように。
- (望む事として) 親なきあとのことが心配。フォロー体制を望む。

#### NO7 生活(住まい)

- ・近所の人には多少の迷惑をかけつつも、日頃の付き合いから理解してもらえる例が多かった。
  - ・入所施設で数人部屋の場合、相性が悪いとストレスに。
- (望む事として)
- ・防音対策に補助金が出ると嬉しい。
  - ・老後の住まいが心配。親亡きあとも自宅での生活を希望する場合、地域での支援を。

#### NO8 救急・消防・災害

- ・地域での要援護者への取り組みが進んでいる例あり。
- (望む事として) 地域での人間関係作りのため、定期的な顔合わせの場がほしい。  
支援者(民生委・自治会など)・要援護者・第三者(障害の専門家)が集まり、日頃から意見交換できるとよい。
- (合理的配慮) 福祉避難所の設置。個室化。視覚支援。

#### NO9 政治参加

- ・施設職員が投票に連れていってくれる例と、本人の無関心や理解できないだろうとの家族の推測により投票しない例とがある。
- ・事前投票でゆとりを持って臨む例あり。

#### NO10 社会参加(地域、自治会、民生委員など)

- ・地域での行事等で叱られることもあるが、継続参加や説明の結果、理解される例が多かった。
- (望む事として) 声を上げにくい人に対する、緩やかで温かい関係作りの場がほしい。  
当事者と支援者で対立しないよう、専門家である第三者にも参加を願う。  
民生委員必修研修である、オレンジリング配布の認知症100万人サポーターキャラバンの自閉症版研修機会がほしい。

#### 全体としてのコメント

- ・町在住の会員からは、地域や同居家族からの理解不足の声が多く感じられた。
- ・高機能の方は、検診をスルーしたり気が付くのが遅れたりして、支援なしの状況が多い。
- ・幼児期から地域活動に参加して関係作りをしている例が多く、理解は良好。
- ・タイムケア事業(H25年からは児童デイへ)や市費によるSST、専門の障害児歯科などがあり、支援体制は割と良好。

以上